



## ガバナーメッセージ 青少年奉仕月間

国際ロータリー  
第2660地区 ガバナー

**立野 純三**  
(大阪RC)



5月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。各ロータリアンの責任は、年齢30歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、青少年に将来を準備させることです。

また、新世代のためのR I 常設プログラムには、インターアクト(12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです) ローターアクト(18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです)、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)(年齢14歳から30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道德基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事を目的としています)、ロータリー青少年交換(長期と短期、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし、学校に通います)があります。

年齢30歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけるためにロータリーの様々なプログラムに参加しています。

先日、報道特集番組を見ておりましたら、今この日本でも貧困の連鎖、教育の格差が非常に大きな問題になっていることを知り、大変ショックを受けました。我々の身近な環境の中で解決しなければいけない問題がまだまだ多く残されていることや、そしてその問題と向き合い解決するために、我々ロータリアン、そして将来リーダーとなるインターアクト、ローターアクトの人達が手を差しのべる必要があるのではないかと改めて痛感しました。

我々ロータリアンは自ら行動を起こすことの大切さを十分に知っています。ぜひ、未来を担う青少年にもっと積極的に関与していただき、将来日本の社会や世界各地で活躍する人材として育てることが必要ではないかと考えています。